

1. 学校概要
2. 学校運営
3. 各学科等の教育活動
(受入れ、成績、進級・卒業、成績評価の辞意方針、学科の教育活動)
4. キャリア教育・実践的職業教育
5. 学生活動、教育環境
6. 学生の生活支援
7. 学生納付金・修学支援
8. 役員名称、職員数
9. 学校の財務
10. 自己評価

学校法人田中育英会 東京エアトラベル・ホテル専門学校 公開情報

1. 学校概要

【設置者】

学校法人田中育英会

【所在地】

東京都小金井市前原町5-1-29

【連絡先】

TEL 042-387-5111 (代表)

Mail info@technos.ac.jp

【理事長】

上島 万紀子

【校長】

増田 浩美

【姉妹校】

東京工学院専門学校

【学院の沿革】

- 1959年 ・名城大学附属東京テレビ高等技術学校設立
- 1965年 ・学校法人田中育英会設立
- 1976年 ・東京工学院を東京工学院専門学校に校名改称
東京ビジネス観光学院を東京ビジネス専門学校に校名改称
- 1990年 ・東京工学院専門学校、東京工学院情報専門学校、東京工学院芸術専門学校を東京工学院専門学校とし
新編成体制に入る
・東京ビジネス専門学校、東京エアトラベル専門学校、東京ソフィア外語学校を東京エアトラベル専門学校として新編成体制に入る
- 1991年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル専門学校 小金井新校舎に移転
- 2000年 ・東京エアトラベル専門学校を東京エアトラベル・ホテル専門学校に校名改称
- 2005年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校、両校の呼称を総合学院テクノスカレッジとする

【教育理念・目的・育成人事】

本学の教育理念、目的、育成人材像は学校創始者による「建学の精神」に示されている通り、己の天職を求めて研鑽に励み、国際社会の文化と福祉に貢献することを目的に学問をし、豊かな人間性を育むと共に常に専門知識の奥深さを究明しながら、天職をまっとうし得る人材を育成する。人生の豊かさは天職を求め、それをまっとうするところにあると語られている。本学は学校教育法による教育機関として、航空、観光、ホテル、ブライダル、鉄道などの

サービス業及び英語等語学の分野に関する専門教育を行い、専門的知識・技能を習得させると共に、総合力・人間力を兼ね備えた有能にして教養と社会的常識を持った人材を育成することを目的としている。その具現化においても専門に関する基礎知識を学び、インターンシップや実学を行い、社会人として必要な次のような能力を育むことを具体的な教育目標としている。

- ア) 自ら考えて行動できる能力
- イ) コミュニケーション能力
- ウ) リーダーシップ&チームワーク
- エ) チャレンジ精神
- オ) 社会人に相応しいマナー

またイギリスのオックスフォード大学をはじめ、アメリカやニュージーランド等海外姉妹校 10 大学との交流により、国際感覚、語学力を養っている。毎年 10 大学の海外姉妹校から教授、学生が来校し、2 週間に亘り本校の学生たちと交流するインターナショナルウィークを実施している。また海外姉妹校から本校学生へ招待を受ける機会もあり、選抜された学生は海外の大学で授業を受け、ホームステイを体験することによりに語学や外国文化を学ぶことができる。このように将来国際社会の文化と福祉に貢献することができるグローバルな人材の育成も目的の一つとしている。また、小金井市、国分寺市と地域活性化包括連携協定を締結し、社会貢献・地域貢献拡充による学生の学修機会の更なる拡充を図るものである。

【目標・計画】

社会の変化や教育界の改革などにより大きく変動するマーケットの中で、本校ならではの価値の最適な進化とそれに伴う募集広報力の改革的向上を図るため、本校のブランド価値をより明確に高めるための3ヵ年計画「テクノス戦略 2025」を姉妹校東京工学院専門学校とともに策定しスタートした。具体的にはブランド価値構築、学修支援、キャリア支援、募集広報など7つの戦略テーマと目標を設定し、2025 年度末の KGI 達成のためのアクションプランを遂行する。

2. 学校運営

・事業計画、収支予算については、毎年度理事会にて審議・決定している。

また、年度初めに理事長から全教職員に対し、年間目標・年度方針が伝達され、全教職員が目標達成に努力している。

・就業規則、賃金規定等の規定は整備されている。

・総務部、教務部、広報企画部、学生部等の部が組織され、各学科を超えた課題事項を検討、解決策を決定し実施している。

・情報公開については、ホームページ、パンフレット等により適正に公開している。

・情報システムについては、本校独自のシステムにより、業務の効率化・円滑化が図られている。

3. 各学科等の教育活動

【入学者に関する受け入れ方針】

出願資格

- ① 本校入学に際し、明確な目的意識と学修意欲のある者
- ② 高等学校を卒業または卒業見込みの者
- ③ 高等学校における出席率が良好の者
- ④ 外国において 12 年以上の学校教育を修了または修了見込みの者

上記の出願者に対して、AO、学校推薦、指定校推薦、一般入試を実施 書類審査、人物評価、作品評価にて入学を許可する。

【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

成績評価

(1) 成績は、定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。

(2) 成績評価

100点～90点	S評価	合格
89点～80点	A評価	合格
79点～70点	B評価	合格
69点～60点	C評価	合格
59点以下	D評価	不合格

進級・卒業の要件

- (1) 全ての履修科目において、60点以上の成績評価にて合格
- (2) 全ての履修科目において、出席率80%以上の出席
- (3) 定期試験の全科目受験（試験は課題或いはレポートに代替される場合がある）
- (4) 進級面接又は卒業面接がある場合は、必ずしていされた日時に受ける
- (5) 日時指定された進級・卒業者発表日に出席する

補足

条件付進級、条件付卒業と判定され、条件を満たさなかった場合は進級又は卒業を放棄したものとみなされる
留年と判定された場合は、全科目再履修原則とする

【成績評価の実施方針】

成績評価とGPA算出方法

本校では、成績評価においては、下記のとおりGPA（Grade Point Average）制度を定め、
学内の成績評価を行うとともに、成績の分布状況を把握し、学習意欲の向上、適切な学習指導に
努めます

1. GPAの算出方法

学生のしおり（学科履修要項）に基づき成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、出席率によって決定し以下の基準によりGPAを算出する

2. GPAの定義と成績評価成

学生が履修した全科目の成績（100点満点）の各履修科目ごとのグレード・ポイントを合算し、その値を総単位数で割ったものがGPAとなる

成績評価（100点満点）	評価	GP
90-100点	S 合格	4
80- 89点	A 合格	3
70- 79点	B 合格	2
60- 69点	C 合格	1
0- 59点	D 不合格	0

59点以下は不合格となり修了認定はしない

下記の計算式により算出

$$GPA = \frac{(4 \times S \text{の修得単位数} + 3 \times A \text{の修得単位数} + 2 \times B \text{の修得単位数} + 1 \times C \text{の修得単位数})}{\text{総単位数 (Dを含む)}}$$

4. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア支援プログラム

本校でのキャリア支援は入学時からスタートし、長年の経験から、各業界の動きを明確に把握している教職員が、一緒に目標を立て、卒業までに身につけたい力を考える。本物の教育と連動したプログラムで、より実践的に、また一人ひとりの目的に合わせた指導を行う

- ① 自己理解（自分の適正を知り、学修テーマを決める）
- ② 社会理解（社会の仕事を知り、必要な力を考える）
- ③ 目標設定（将来の目標に対して、学ぶ動機を高める）
- ④ 専門性・総合力・人間力醸成（活躍の場に向けて、必要な力を身につける）
- ⑤ 就職力養成（就職に向けて、サポートを受けながら就職を実現させる）
- ⑥ キャリア拡充（キャリアアップやキャリアチェンジに対してバックアップ）

実践的職業教育

業界ニーズに合った知識やスキルの習得を目的に、学生が各業界の企業や団体で経験を積むことが基本

- ① F C インテルナツィオナーレ・ミラノと提携し、インテルアカデミージャパンで現場実習
- ② 小笠原プロジェクト（小笠原観光協会と連携し小笠原PR）
- ③ テクノスポーツクラブ（学生が運営するスポーツクラブ）
- ④ きしゃぽっぽ保育園（敷地内にある認可保育園での現場実習）
- ⑤ 企業インターンシップ
- ⑥ 小金井市・国分寺市の地域イベントへの技術協力

就職支援

人間力を養う7つのサポートプログラム

- ① 従業とマナー（社会人として欠かせない基本マナーやルール）
- ② キャリアカウンセリング（いつでも学生の相談に応じることができるようスタッフが常駐）
- ③ 就職ガイダンス（学内で作成した就職ハンドブックをもとにし、就職について理解）
- ④ Uターン就職／Iターン就職（夏季休暇などを利用して、企業訪問ができるように指導）
- ⑤ 個別企業説明会（学内で開催される企業説明会）
- ⑥ 校内入社試験（学内で本校学生対象の入社試験）
- ⑦ 模擬面接

5. 学生活動・教育環境

学校行事

- 4月 入学オリエンテーション
入学式、健康診断
- 5月 研修旅行（本校所有の研修施設）
- 6月 インターナショナルウィーク（海外姉妹校 10 校から留学生・教授が来日）
- 7月 こどもまつり
- 8月 MUSAKO FEST（学生が実施する音楽イベント）、海外研修
- 9月 期末試験
- 10月 学院祭
- 12月 クリスマスイベント
- 2月 卒業作品展、期末試験、オックスフォード研修
- 3月 卒業式

部活動

バレーボール部、バスケットボール部、サッカー部、ダンス部、軽音楽部、テニス部、バトミントン部
フットサル部、野球部、水泳部、その他

教育環境

校舎（地下1階 地上9階）
各学科の実習室、座学教室

施設

体育館
グラウンド（全前人工芝）
テニスコート
温水プール
ライブハウス
カフェテリア（食堂）
カフェ&ジョップ（喫茶、購買）
トレーニングルーム
図書館
キャリアセンター
カウンセリングルーム
駐輪場

CAMPUS MAP

不思議なキャンパス、テクノスのここにビックリ!

キャンパス内にある
ちょっと
ビックリする情報を
紹介します!



01

保育園の子どもたちも
キャンパスを利用している!?

キャンパス内に「きしゃぽっぽ保育園」が併設されており、子どもたちがキャンパス内の施設を使っています。学生たちは保育士として現場の経験を積んだり、子どもたちに英語を教えたりにしています。



02

どこの観光スポットにも
見劣りしない
クリスマスツリーが突然現れる!?

12月にクリスマス・イベントが開催され、そのクリスマスツリーをコンサート・イベント用に設置します。地上階からアタリを照らすクリスマスツリーは SNS 映え間違いなし! 毎年恒例で豪華ゲストもイベントに参加します。高校生も参加 OK です。



03

旅行プランを
学生が案内している!?

授業で必要な通学や送迎、飲み物が購入できるテクノス・ポート（購買）施設の中には、観光・ツーリズム科が運営する「テクノスツーリスト」があり、旅行プランなども希望に合わせで学生が組んでくれます。



04

学生が設計した部屋が
開放されている?

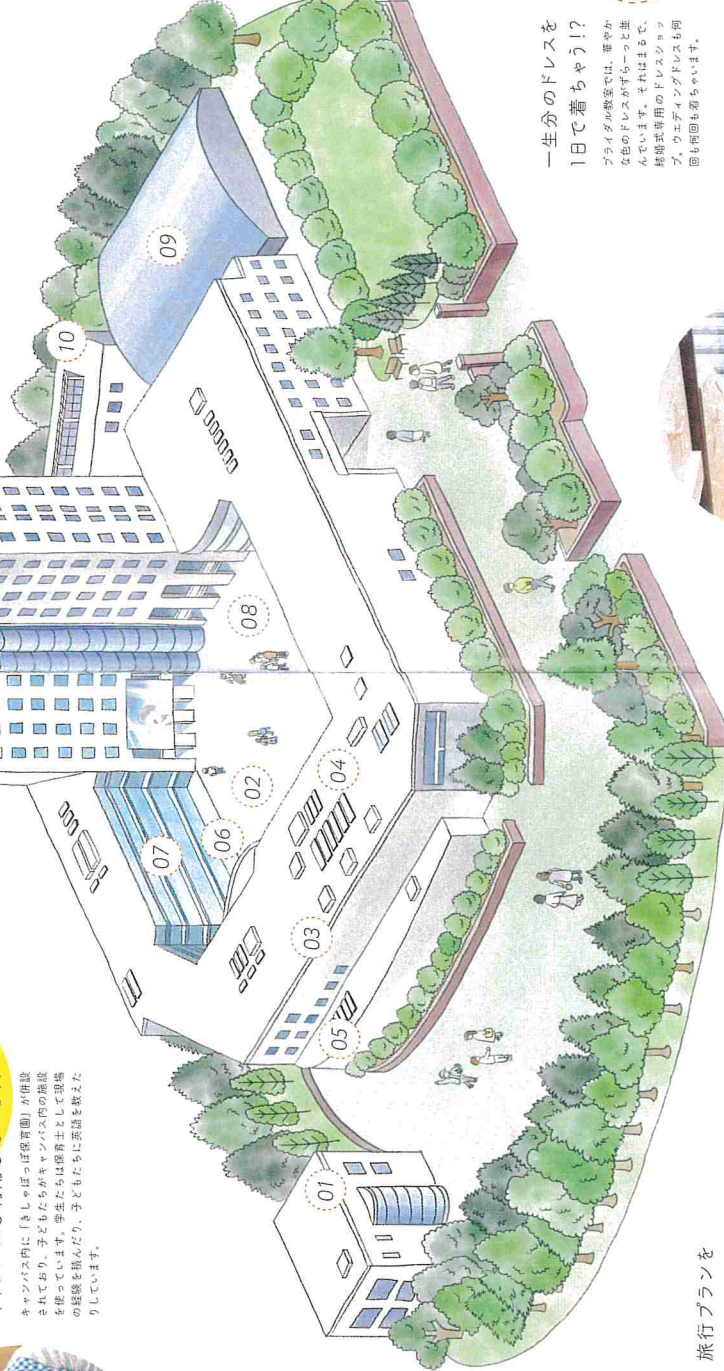
建築学科とインテリアデザイン科の学生が設計した部屋がキャンパス内にあります。



10

子どもたちが
水泳をしている!?

テクノスウォータークラブでは、プールや水泳、グラウンドでサッカーなどの教室を開催しています。今後は、子ども向けの英語やピアノ教室などを開催するテクノスアカデミーも予定しています。



09

高校生が踊ったり、
演奏したり、
絵を描いたり
実力を発揮したり!

イラストコンテスト、バンドコンテスト、ダンスパーク（ダンスコンテスト）が学内で行われ、全国の高校生が好きなことや得意なことを披露する場となっています。そのイベントを学生たちが運営しています。



08

毎年1回、
中庭が海外になる期間がある!?

中庭には、年1回海外某国の学生たちが集まります。これらが全参加型の「インターナショナル・マーケット」で、留学生だけでなく海外の学生たちも日本に招待して話をします。2020年はオンラインで開催予定です。この「インターナショナル・マーケット」は、毎年1回、中庭が海外になる期間がある!?



07

一生分のドレスを
1日で着ちゃう!?

ブライダル教室では、華やかな色のドレスがずらりと並んでいます。それはまるで、結婚式のドレスショップ。ウェディングドレスも何回も着てもらいます。



06

番組が作れるスタジオは
本物より広いかも!?

映像メディア学科が授業を行うテレビスタジオが地下1階にあります。番組イベントの中庭として使用されたり、ミュージック祭のイベントなども行われています。

CAMPUS MAP

キャンパスマップ



TVスタジオ・副調整室



第一録音スタジオ



テクノホール



ライブハウス「AtoZ」



ピアノ実習室



スキルアップルーム



図書室



プール



東京工学院
きしゃぼっぱ保育園



バーチャルスタジオ



保育実習室



カフェ&ショップ
「TECHNOS PORT」



Macルーム



電気・電子実験室



体育館



建築・インテリア実習室



トレーニングルーム



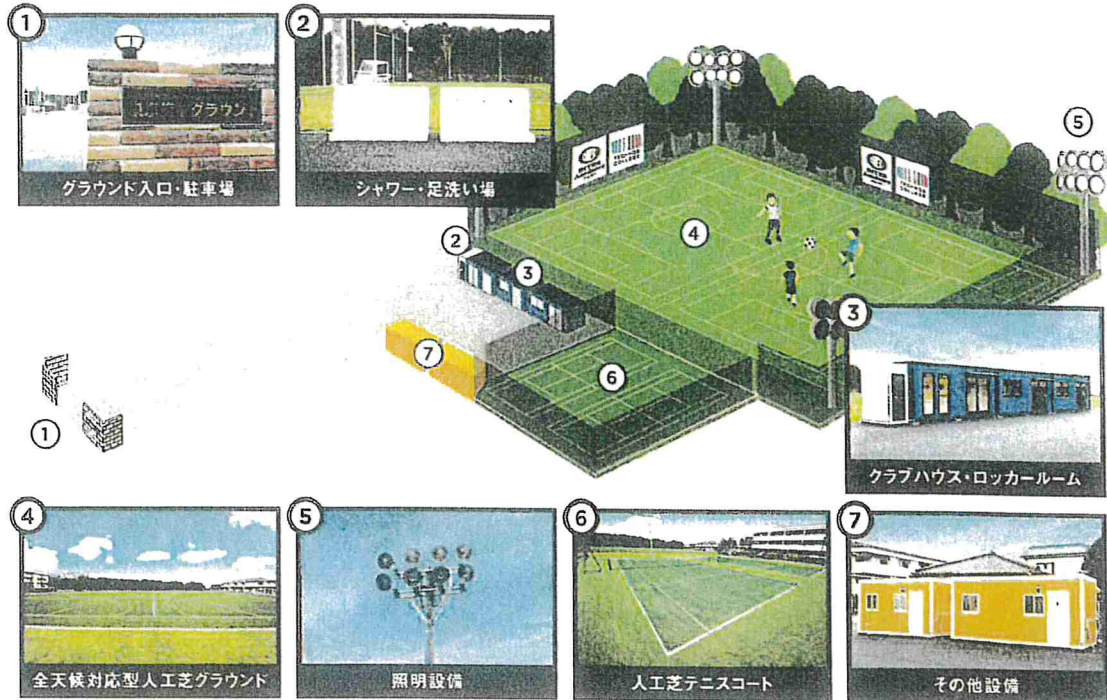
フライトシミュレーター



カフェテリア

テクノスカレッジのグラウンド「東京府中グラウンド」

「インテルアカデミージャパン」のサッカー場としても利用されるこのグラウンドは、全天候型の人工芝仕様。
照明設備やシャワールーム、クラブハウス、脱衣所なども完備しています。各種スポーツ競技に対応可能なグラウンドです。



テクノスカレッジの総合研修施設「みどりの村」

リゾート地として名高い信州・千曲川のほとり、望月御牧ヶ原高原にある本学院所有の総合研修施設「みどりの村」。
全学科の全学生が参加するオリエンテーション宿泊研修をはじめ、各種研修、勉強合宿、クラブ活動などの合宿に使用されています。



6. 学生の生活支援

安心・快適なキャンパスライフを過ごすために、専任の看護師が保健室に常駐、専門のスクールカウンセラーが相談に応じるカウンセリングルームを設置

卒業生対象の校友会活動により、卒業生同志の交流会、情報交換会を開催、社会情勢を把握できるようにしている

7. 修学支援

奨学金（免除）学費の全額または一部免除

- ① 特待生奨学金制度
- ② スポーツ特待生奨学金制度
- ③ 文化クラブ・課外活動特待生奨学金制度
- ④ 学歴・仕事経験優遇制度
- ⑤ 自宅外通学者補助制度
- ⑥ AO奨学金制度
- ⑦ 資格奨学金制度

奨学金（無利子貸与）

- ⑧ 田中育英会奨学金制度（500,000 円以内）
- ⑨ 校友会・同窓会奨学金制度（500,000 円以内）

8. 役員名称、職員数

役 職		氏 名
理 事 長 (理事6名)	第7条第1項第2号理事	上島 万紀子
	第7条第1項第2号理事	瀧 仁子
	第7条第1項第1号理事	木立 眞行
	第7条第1項第3号理事	岡田 清
	第7条第1項第3号理事	平川 愛
	第7条第1項第3号理事	木矢 則雄

学校長	教員	教員（兼務者）	事務職員
1 名	2 5 名	70名	4名

学費 & 教材費一覧 東京エアトラベル・ホテル専門学校

学科	入学金	授業料	実習費	施設費	1年次合計	2年次合計	卒業までの合計
エアラインサービス科	200,000	750,000	130,000	200,000	1,280,000	1,080,000	2,360,000
英語キャリア科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
ホテル科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	2,160,000
ブライダル科	200,000	550,000	130,000	200,000	1,080,000	880,000	1,960,000
総合ビジネス科	200,000	550,000	130,000	200,000	1,080,000	880,000	1,960,000
観光・ツーリズム科	200,000	550,000	130,000	200,000	1,080,000	880,000	1,960,000
鉄道交通科	200,000	450,000	130,000	200,000	980,000	780,000	1,760,000
大学併修学科	200,000	650,000	130,000	200,000	1,180,000	980,000	4,120,000
研究科	200,000	400,000	50,000	50,000	700,000	———	700,000

※大学コースを選択されている方は、1・2年次は各学科の学費、3・4年次は大学併修学科（196万円）または教育専攻科（230万4,000円）が適用されます。大学の科目履修費については本学が奨学金として負担します。（P32参照）

※併修大学に産業能率大学・日本大学・中央大学を選択した場合は大学併修学科へ3年次編入、姫路大学・星槎大学を選択した場合は東京工学院専門学校 教育専攻科への3年次編入となります。

●教材費一覧 教科書・教材費（2021年度1年生例） ※2022年度募集学科とは編成が異なるため、参考値としてご確認ください

エアライン科	＜フライトアテンダント・グランドスタッフコース＞	120,150	ブライダル科	コース共通	117,260
	＜エアライン&英語コース＞	117,710	ビジネスマナー・秘書科		83,900
エアポートサービス科	＜グランドハンドリングコース＞	71,010	観光旅行科	＜ツアーコンダクター&プランニングコース＞	93,730
	＜エアポートビジネスコース＞	89,210		＜総合トラベルコース＞	120,480
英語キャリア科	＜英語キャリアコース＞	113,130	鉄道交通科	＜総合運輸・鉄道コース＞	92,840
	＜海外留学コース＞	120,130	研究科		6,700
ホテル科	＜アーバン&シティーホテルコース＞	104,570			
	＜テーマパーク&リゾートホテルコース＞	98,870			
	＜ホテル&英語コース＞	114,080			

（単位：円）

●入学前にノートパソコンをご用意ください

本学ではICTを活用した学修を推進するにあたり、新入生全員にノートパソコンを必携していただいております。

既にお持ちのノートパソコンが、学科で必要とするスペックを備えている場合は新たに購入いただく必要はございません。

スペックについては入学希望学科の教員までお問い合わせください。

資金収支計算書

自:令和03年4月 1日

至:令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

収入の部		単位 円
科目	決算額	備考
学生生徒等納付金収入	(1,457,401,250)	
手数料収入	(12,828,202)	
寄付金収入	(0)	
資産売却収入	(3,167,922,485)	
付随事業・収益事業収入	(20,004,000)	
受取利息・配当金収入	(252,293,765)	
雑収入	(19,694,867)	
借入金収入	(0)	
前受金収入	(804,796,886)	
その他の収入	(328,953,448)	
資金収入調整勘定	(△ 1,013,586,280)	
前年度繰越支払資金	2,349,211,204	
収入の部合計	7,399,519,827	

支出の部		単位 円
科目	決算額	備考
人件費支出	(879,965,561)	
教育研究費支出	(254,042,045)	
管理経費支出	(738,636,284)	
借入金等利息支出	(21,850,475)	
借入金等返済支出	(99,990,000)	
施設関係支出	(215,541,022)	
設備関係支出	(62,979,400)	
資産運用支出	(1,531,427,140)	
その他の支出	(424,376,745)	
予備費	(0)	
資金支出調整勘定	(△ 127,900,301)	
翌年度繰越支払資金	3,298,611,456	
支出の部合計	7,399,519,827	

事業活動収支計算書

自:令和03年4月 1日

至:令和04年3月31日

単位 円

区分	科目	決算額	備考
教育活動 収入 支出	事 学生生徒等納付金	(1,457,401,250)	
	業 手数料	(12,828,202)	
	活 寄付金	(0)	
	動 付随事業、収益事業収入	(0)	
	収 雑収入	(19,694,867)	
	入 教育活動収入計	1,489,924,319	
	事 人件費	(879,965,561)	
	活 教育研究経費	(410,290,703)	
	動 管理経費	(819,148,284)	
	支 教育活動支出計	2,109,404,548	
	出 教育活動収支差額	△ 619,480,229	
	教育収入	252,293,765	
	収益事業収入	20,004,000	
	教育活動外収入計	272,297,765	
教育活動外 収入 支出	借入金利息	21,850,475	
	その他の教育活動外支出	0	
	教育活動外支出計	21,850,475	
	教育活動外収支差額	250,447,290	
	経常収支差額	△ 369,032,939	
	収入	(1,473,213,940)	
	特別収入計	1,473,213,940	
	支出	(5,303,002)	
	特別支出計	5,303,002	
	特別収支差額	1,467,910,938	
特別収支	予備費	0	
	基本金組入前当年収支差額	1,098,877,999	
	基本金組入額(△)	203,010,422	
	当年度収支差額	895,867,577	
	前年度繰越収支差額	2,833,633,922	
	基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額		3,729,501,499	

基 本 金 明 細 表

自 令和03年4月 1日

至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

単位:円

事 項	要組入高	組入高	未組入高	摘 要
第 1 号 基 本 金				
当 期 末 残 高	17,749,878,754	17,849,868,754	2,170,972,820	
第 4 号 基 本 金				
当 期 末 残 高	500,000,000	500,000,000	0	
合 計				
当 期 末 残 高	18,249,878,754	18,349,868,754	2,170,972,820	

貸 借 対 照 表

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

学校法人 田中有英会

資 産 の 部		単位:円	
科 目	本年度末	前年度末	増(△)減
固 定 資 産	《 21,827,418,125 》	《 21,704,583,859 》	《 122,834,266 》
有 形 固 定 資 産	(12,621,759,553)	(12,482,351,789)	(139,407,764)
土 地	8,902,165,305	8,902,165,305	0
建 物	3,155,722,092	3,127,460,781	28,261,311
構 築 物	224,019,801	233,781,201	△ 9,761,400
教 育 研 究 用 機 器 備 品	48,885,778	49,806,436	△ 920,658
管 理 用 機 器 備 品	72,903,120	34,767,680	38,135,440
図 書	128,968,707	128,968,707	0
車 両	2,894,750	5,401,679	△ 2,506,929
建 設 仮 勘 定	86,200,000	0	86,200,000
そ の 他 の 固 定 資 産	(9,205,658,572)	(9,222,232,070)	(△ 16,573,498)
電 話 加 入 権	1	1	0
ソ フ ト ウ ェ ア	21,942,000	33,390,000	△ 11,448,000
有 価 証 券	7,437,910,479	7,606,494,886	△ 168,584,407
長 期 貸 付 金	1,735,806,092	1,571,347,183	164,458,909
敷 金 ・ 保 証 金	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000
流 動 資 産	《 3,674,318,437 》	《 2,846,340,952 》	《 827,977,485 》
現 金	10,527,774	2,576,499	7,951,275
預 金	3,288,083,682	2,346,634,705	941,448,977
短 期 貸 付 金	208,083,100	176,237,250	31,845,850
前 払 金	0	147,350,000	△ 147,350,000
仮 払 金	2,537,200	11,888,350	△ 9,351,150
立 替 金	165,086,681	161,654,148	3,432,533
資 産 の 部 合 計	25,501,736,562	24,550,924,811	950,811,751

運用資産	10,736,521,935
外部負債	2,595,135,376
差額	8,141,386,559

貸借対照表

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

負債の部				単位:円					
科 目				本年度末		前年度末		増(△)減	
固 定 負 債 金	長 期 借 入 金			(2,300,050,000)	(2,400,040,000)	(△ 99,990,000)			
				2,300,050,000	2,400,040,000	△ 99,990,000			
流 動 負 債 金	未 払 金	前 受 金	預 り 金	仮 受 金	(1,122,316,309)	(1,170,392,557)	(△ 48,076,248)		
					295,085,376	138,697,519	156,387,857		
					804,796,886	1,013,586,280	△ 208,789,394		
					22,434,047	18,108,758	4,325,289		
					0	0	0		
負債の部合計				3,422,366,309	3,570,432,557	△ 148,066,248			
基 本 金	第 1 号 基 本 金	第 4 号 基 本 金		(18,349,868,754)	(18,146,858,332)	(203,010,422)			
				17,849,868,754	17,646,858,332	203,010,422			
				500,000,000	500,000,000	0			
繰 越 収 支 差 額	翌 年 度 繰 越 収 支 差 額			(3,729,501,499)	(2,833,633,922)	(895,867,577)			
				3,729,501,499	2,833,633,922	895,867,577			
純 資 産 の 部 合 計				22,079,370,253	20,980,492,254	1,098,877,999			
負債の部及び純資産の部合計				25,501,736,562	24,550,924,811	950,811,751			

- 注記 1、 固定資産の減価償却の方法;建物他教育関連固定資産につき定額法により每期償却をしている。
- 2、減価償却の累計額の合計額 11,605,773,296 円。
- 3、有価証券の評価方法 移動平均法による原価法。
- 4、有価証券の期末時価 9,375,099 千円。
- 5、翌会計年度以後に基本金の組入れを行う金額 2,170,972,820 円。

固定資産明細書

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

学校法人 田中育英会

資産の名称	期首残高 (円)	当期増加額 (円)	当期減少額 (円)	期末残高 (円)	減価償却累計額 (円)	差引期末残高 (円)	当期減価償却費 (円)	備考
土地 計	8,902,165,305	0	0	8,902,165,305	0	8,902,165,305	0	
建物 計	12,922,841,536	215,541,022	0	13,138,382,558	9,982,660,466	3,155,722,092	187,279,711	
他有形資産 計	2,002,507,586	149,179,400	0	2,151,686,986	1,587,814,830	563,872,156	38,032,956	
その他(有価証券、敷金保証等)計	9,246,082,070	1,703,820,155	1,708,945,653	9,240,956,572	35,298,000	9,205,658,572	11,448,000	
総合計	33,073,596,497	2,068,540,577	1,708,945,653	33,433,191,421	11,605,773,296	21,827,418,125	236,760,667	

借入金明細表

自 令和03年4月 1日
至 令和04年3月31日

借入先	期首残高 (円)	当期増加額 (円)	当期減少額 (円)	期末残高 (円)	利率	返済期限	摘要
長期借入金							
計	2,400,040,000	0	99,990,000	2,300,050,000		支払利息(円) 21,850,475	
短期借入金							
計							
合計	2,400,040,000	0	99,990,000	2,300,050,000			

監 査 報 告 書

学校法人 田 中 育 英 会

理 事 長 上島 万紀子 殿

令和3年度（令和3年4月1日より令和4年3月31日）の収支決算書類及び
資産目録を監査したところ適正に表示されていることを認める。

令和4年5月29日

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目30番16号

学校法人 田 中 育 英 会

監 事 新 城 健 蔵



監 事 山 元 久 栄



事業報告

法人の概要

(1) 学校法人田中育英会の沿革

- 1959 年 ・名城大学附属東京テレビ高等技術学校設立
- 1965 年 ・学校法人田中育英会設立
- 1976 年 ・東京工学院を東京工学院専門学校に校名改称
東京ビジネス観光学院を東京ビジネス専門学校に校名改称
- 1990 年 ・東京工学院専門学校、東京工学院情報専門学校、東京工学院芸術専門学校を東京工学院専門学校とし新編成体制に入る
・東京ビジネス専門学校、東京エアトラベル専門学校、東京ソフィア外語学校を東京エアトラベル専門学校として新編成体制に入る
- 1991 年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル専門学校 小金井新校舎に移転
- 1999 年 ・東京エアトラベル専門学校を東京エアトラベル・ホテル専門学校に校名改称
- 2005 年 ・東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校、両校の呼称を総合学院テクノスカレッジとする

(2) 設置する学校の定員・在籍数（直近3年度）

2020 年度

東京工学院専門学校

総定員 1940 人

在籍者 1134 人

2020 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 780 人

在籍者 524 人

2020 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 12 人

2021 年度

東京工学院専門学校

総定員 1920 人

在籍者 1088 人

2021 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 760 人

在籍者 434 人

2021 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 15 人

2022 年度

東京工学院専門学校

総定員 1920 人

在籍者 793 人

2022 年度

東京エアトラベル・ホテル専門学校

総定員 760 人

在籍者 265 人

2022 年度

東京工学院日本語学校（各種学校）

総定員 100 人

在籍者 5 人

教育用施設の概要（2022 年 5 月 1 日現在）

東京工学院専門学校 建物（19,645 m²）

東京エアトラベル・ホテル専門学校 建物（11,640 m²）

東京工学院日本語学校 建物（264 m²）

野外運動場 11,111 m²

2 事業の概要

法人全体（2022 年 5 月 1 日現在）

法人名 学校法人田中育英会

法人認可 1965 年 7 月 20 日

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-30-16

代表者 理事長 上島 万紀子

役員 理事 6 名

監事 2 名

評議員 14 名

（1）設置する学校（2022 年 5 月 1 日現在）

① 東京工学院専門学校

所在地 東京都小金井市前原町 5-1-29

入学定員 880 人 総定員 1920 人 在籍数 793 人

学科数 25 学科

教職数 本務 48 人 兼務 200 人

教育内容 総合学院として工学系・芸術系・教育系の学科で多種多彩の人材を育成

② 東京エアトラベル・ホテル専門学校

所在地 東京都小金井市前原町 5-1-29

入学定員 380 人 総定員 760 人 在籍数 265 人

学科数 11 学科

教職数 本務 25 人 兼務 70 人

教育内容 総合学院としてホテル・ブライダル・エアライン・語学の学科でグローバルな人材を育成

③ 東京工学院日本語学校

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-30-16

入学定員 50 人 総定員 100 人 在籍者 5 人

学科数 3 学科

教職員 本務 5 人 兼務 2 人

教育内容 外国人留学生に対して日本語教育をおこない、専門学校及び大学への進学を目指す

(2) 事業に関する事項

東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校両校は地域連携事業として、小金井市・国分寺市と包括協定を結び事業展開を始める。

小金井市政 60 周年 P V 制作、国分寺市民結婚式の企画・運営など地域との連携事業を学生の実務教育の場として今後もさまざまな展開を推進。

2020 年度

(2020年4月～2021年3月)

自己評価報告書

学校法人田中育英会

東京エアトラベル・ホテル専門学校

1. 学校の教育目標

本学の教育理念、目的、育成人材像は学校創始者による「建学の精神」に示されている。己の天職を求めて研鑽に励み、国際社会の文化と福祉に貢献することを目的に学問をするものである。豊かな人間性を育むと共に常に専門知識の奥深さを究明し天職をまっとうし得る人材を育成することである。人生の豊かさは天職を求め、それをまっとうするところにある、と語られている。

本学は学校教育法による教育機関として、航空、観光、ホテル、ブライダル、鉄道などのサービス業及び英語等語学の分野に関する専門教育を行い、専門的知識・技能を習得させると共に、総合力・人間力を兼ね備えた有能にして教養と社会的常識を持った人材を育成することを目的としている。

その具現化においても専門に関する基礎知識を学び、インターンシップや実学を行い、社会人として必要な次のような能力を育むことを具体的な教育目標としている。

- ア) 自ら考えて行動できる能力
- イ) コミュニケーション能力
- ウ) リーダーシップ&チームワーク
- エ) チャレンジ精神
- オ) 社会人に相応しいマナー

またイギリスのオクスフォード大学をはじめ、アメリカやニュージーランド等海外姉妹校 10 大学との交流により、国際感覚、語学力を養っている。

毎年 10 大学の海外姉妹校から教授、学生が来校し、2 週間に亘り本校の学生たちと交流するインターナショナルウィークを実施している。更に海外姉妹校から本校学生へ招待を受ける機会もあり、選抜された学生は海外の大学で授業を受け、ホームステイを体験することによりに語学や外国文化を学ぶことができる。

このように将来、国際社会の文化と福祉に貢献することができるグローバルな人材の育成も、目的の一つとしている。

また、小金井市、国分寺市と地域活性化包括連携協定を締結し、社会貢献・地域貢献を通じて学生の学修機会の更なる拡充を図るものである。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

社会の変化や教育界の改革などにより大きく変動するマーケットの中で、本校ならではの価値の最適な進化とそれに伴う募集広報力の改革的向上を図るため、本校のブランド価値をより明確に高めるための 3 カ年計画『テクノス戦略 2020』を姉妹校東京工学院とともに策定しスタートした。具体的には「ブランド価値構築」「学修支援」「キャリア支援」「募集広報」など 7 つの戦略テーマと目標を設定し、2020 年度末の KGI (Key Goal indicator) 達成のための 3 年目のアクションプランを遂行するとともに、「戦略 2025 vision」に向けて助走する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学校の理念、目標、人材育成像については、「建学の精神」に定めているが、コロナ渦において学生の周知度を上げる工夫も必要

② 今後の改善方策

- ・常に教職員が社会の変化、業界の将来像を情報収集・把握して共有し、学科授業で最新の情報を学生に提供する。学生はもちろん保護者にも連絡できるツールを設ける。

③ 特記事項

- ・常に社会経済の変化を意識した将来を見据えた「本物の教育」の実践を目標としている。
- ・「本物の教育」を活用しながら成長するためのノート『TECHNOS NOTE』を東京工学院と作成し、配布した。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機関は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与等に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 規程の更なる見直しとともに、教職員への周知徹底を図る
- ・ 新規雇用者へのコンプライアンス教育の実施と、全教職員へのハラスメントに関する研修等、継続的な実施

② 今後の改善方策

- ・ 諸規程は、イントラネット、掲示等により開示、周知徹底を図る
- ・ コンプライアンス教育については、定期的な研修会およびEラーニングを導入し実施する

③ 特記事項

- ・ 事業計画、収支予算については、毎年度理事会にて審議・決定している。
また、年度初めに理事長から全教職員に対し、年間目標・年度方針が示され、全教職員が目標達成に向けて努力している。
- ・ 情報公開については、ホームページ、パンフレット等に適正に公開しているが、より見やすく常に改善している。学生管理システムの導入により、業務の効率化を図るとともに個人情報管理を強化した。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1

・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・社会の変化に対応できるカリキュラムや教育方法の工夫・開発。
- ・関連分野における業界や企業と連携し、常にすぐれた教員を補充する。

② 今後の改善方策

- ・学科ごとに「学科ワーク」を策定し、これに沿ったカリキュラムを作成する。さらに全学科に装着したゼミでは、外部の方に向けて提案をし、厳しい評価されることで探究の必要性を実感することも必要と考える。
- ・教職員の採用については学院全体で「適所適材」の募集活動を行う。

③ 特記事項

- ・課題解決型学修として「大学コースゼミ」を開講。SDGsをテーマにグループワークを実施。2021年2月に小金井市長、府中市NPO法人に最終プレゼンも行った。
- ・キャリアセンター主催による社会で活躍するOB等を講演者として年4回キャリア研修会を開催した。
- ・2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により学生の登校が困難になり、授業の実施方法を検討せざるを得なくなった。オンライン授業の開始を当初予定より前倒しして2020年4月から本格的に開始した。これに伴いオンライン授業の詳細な実施方法を研究・共有し、実施した。
- ・今年度の卒業式はメイン会場とオンラインでつなぎ、クラス単位での卒業証書授与となった。
- ・コロナ禍で、体系的に行っているインターンシップ等が実施することが難しい状況となった。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

- ・退学希望者に対応するため退学理由によっては他科への転科または東京工学院への転校を勧める

③ 特記事項

- ・毎年、キャリアセンターが業界で活躍している卒業生・企業人を後援者として選定し、就職対象学年生に4回～5回「進路ガイダンス」を実施している。
- ・コロナ渦により、就職活動が思うように行えない学生に対する対策として、1年間研究科で学ぶという選択をする学生もいた。就職率は、希望者の98%。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・学生生活に問題のある学生は積極的に保護者に連絡・相談しているが、一部連絡をいただけない保護者も散見される

② 今後の改善方策

- ・問題のある学生は保護者も含めた三者会談を早め実施しているが、さらに注力する。
- ・保護者に対して学事・イベント等に関する案内を今後も継続的に送りコミュニケーションをとる。
- ・2021年4月から新しい「学生管理システム infoクリッパー」を導入する。

③ 特記事項

- ・ 高等教育修学支援新制度の対象校である。
- ・ 本学独自の奨学金制度（田中育英会奨学金、特待生奨学金など）あり。また、学生寮も設置しており、そのほか提携学生会館も紹介して地方出身者にも対応している。
- ・ カウンセラールームを設置しており、専門のカウンセラーが学生・教員・保護者からの相談に対応している。対面だけでなくオンラインでも相談可能である。
- ・ コロナ渦でクラブ活動に制限が出たこともあったが、学生主体のオープンキャンパス、TECHNOS 祭、TECHNOS 展など PBL（課題解決型学習）を積極的に動かした。

（６）．教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ インターンシップについては、ホテル科・ブライダル科・鉄道交通科の全員にインターンシップを実施しているが、科によっては受け入れ企業の事情もあり長期のインターンシップの設定が難しい。
- ・ 就職内定企業によっては「早期現場実習」と称して卒業前から勤務要請があり、正規の授業が受けられない場合がある。

② 今後の改善方策

- ・ 企業との関係をより密にすることや、新たな企業と連携することによりインターンシップの機会拡充が実現できるようにする。
- ・ 早期現場実習については、今後も該当企業に粘り強く要請する

③ 特記事項

- ・ 既存の人工芝の総合グラウンドとテニスコート、温水プール、体育館、実習室、図書室、保健室、学生食堂など教育上必要な施設・設備はすべて完備している。また、これらの施設を地元住民、高校に貸出も行っている。
- ・ 海外研修も毎年複数のコースを設定しているが、コロナ渦であったため、すべてオンラインで実施し、全学科の希望者の参加を可能とした。
- ・ 毎年消防署の指導のもとで避難訓練を実施している。
- ・ 登校型授業が開催できない期間は、オンライン授業を充実させ学びの継続を図った。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

- ・体験入学やオープンキャンパスなど年間を通して実施。多くの高校生に参加機会を提供しているが、今後もより参加しやすい環境整備を行う。それによって毎年安定した入学者数を確保する。対面型のOCが行えない時期が続き、募集は苦戦した。

② 今後の改善方策

- ・オープンキャンパスに参加してくれた高校生に対しては、個別対応や個人ベースでのアプローチを心掛けているが、本人の将来への夢・希望や不安を最優先にニーズに見合った対応を心掛ける。
- ・今年度よりオンラインオープンキャンパスを実施しているが次年度はさらに充実させる。

③ 特記事項

- ・体験入学に参加した高校生の情報がより迅速に正確に共有できるシステム infoCloudを導入して高校生の情報を共有して、CVを上げるなど募集活動に活かしている。
- ・学納金は他の専門学校と比較して平均的なものである。
- ・オープンキャンパスは、教員ではなく在校生（PBL）が中心になって企画・運営している。
- ・他校が対面でのオープンキャンパスを行っていても、参加者の安心・安全を一番に考え実施した。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

中長期の財務計画については今後も継続的に綿密な分析・計画・戦略が必要と考えられる。

② 今後の改善方策

- ・各部署の予算編成にあたっては前年度踏襲型になりがちであるのに対して、予算計上段階で実施計画・内容・必要性を十分にヒアリングし精することで、効率的な予算配分を行い、予算計画の改善策とする。
- ・決まった予算をより効果的に活用するためにコスト削減も検討する。

④ 特記事項

- ・財務情報は HP にて公開している。
- ・公認会計士による外部監査、及び監事による内部監査を実施している

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・全教職員が一般法令はもとより、学校運営において遵守すべき各種法令、専修学校設置基準、学則等をより深く理解する。

② 今後の改善方策

- ・毎年、新任職員の採用に合わせて、定期的に法令遵守等の研修会を実施する
- ・日々の学校運営において法令等に抵触する可能性を認識した場合は、今後も各教職員が所属系・部署の上長に報告、連絡、相談し対応を検討する。

③ 特記事項

- ・個人情報の取り扱いについては、学生と保護者等に対し、あらかじめ文書で利用目的を明示し、利用について同意を得ることを厳守しており、個人情報へのアクセスを制限して漏えいを未然に防止している。
- ・個人情報の取り扱いについては新入生オリエンテーションで指導している。
- ・自己評価結果についても HP 上で公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

- ・地域活性化連携包括協定を締結した小金井市、国分寺市との連携をさらに強固に具体的に遂行する。
- ・授業の関係もあり長期的・継続的なボランティア活動に参加することは容易ではない。

②今後の改善方策

- ・引き続き小金井市、国分寺市の担当者と話し合いを継続する。
- ・大学コースの学生は時間的にも余裕があるので積極的にボランティアに参加させたい。

④ 特記事項

- ・国分寺市市民から挙式者を募集し、11月22日にシビルウェディングを実施予定であったが、コロナ感染症拡大のため実施できなかった。
- ・地元住民、高校へのグラウンド、体育館、温水プール等の貸出しを今後も継続したいと考えている。
- ・小金井市の老人保健施設『あんず苑』との交流は、コロナ渦で開催できなかった。

(11). 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	③	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

①課題

- ・コロナ渦であってもオンラインで海外姉妹校10校との交流を盛んに実施しているが、それに伴う教育効果について外部に発信することがやや不十分である。

① 今後の改善方策

- ・HP や学校案内等の媒体を通して国際交流の状況や教育的な成果について定期的に発信できる体制を構築する。

② 特記事項

- ・毎年、イギリス・アメリカ・ニュージーランドの海外姉妹校10校の教授・学生が来校し、2週間本校の学生・教員と交流するインターナショナルウィーク、本校学生の海外姉妹校での短期研修も実施しており、終了後はプレゼン方式の報告会を学生・教員を対象に行っているが、2020年度は、オンラインでの実施となった。
- ・海外留学担当の専任教員を選任するとともに、外部の留学センターと契約し留学希望の学生に対応している。海外留学中の学生は月1回定期報告を行っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・2018年度からは3年間の中期計画「テクノス2020」を策定し、常に社会のニーズを先取りして教育に取り組んでいる。更に2025visionを策定し、2021年度からは総合キャリア機関として確立すべく「5年プラン」を実行する。
- ・小金井市、国分寺市と地域活性化包括連携協定を締結し、社会貢献・地域貢献に積極的に寄与するとともに、学生の実学の学修機会の拡充を図っており、高い評価を得ている。今後は、サテライトキャンパスがある長野県佐久市とも同様に連携し、更なる拡充を図っている。
- ・専門学校ではあるが全学科のカリキュラムに「社会課題に挑戦する」実学ゼミを導入するなど、他校との差別化を図っている。
- ・コロナ渦であってもオンラインを有効に使い、海外姉妹校との取り組み等、「学びを止めない」、「チャンスと捉える」ことを実践している。
- ・これら本校の特色をHPで積極的に訴求し、安定した学校運営を行い、専門性・人間力・総合力を兼ね備えた多くの学生を今後も社会に輩出する。